

目次

- 2 **巻頭のことば**
上野理事長に聞く
- 3 **中国語でどういう？**
わたしの話，分かりますか？
- 4 **紛らわしい文法表現**
“不会V(O)”と“V不了(O)”(1)
- 6 **看图学谚语**
絵で見ることわざ(4)
- 8 **中国語と芸術**
京劇の中国語と能楽の日本語
- 9 **読者の広場**
中検1級一次 筆記試験について
ようやく準1級に合格
準4級に合格して
3級に合格して
私の中国語学習方法
30歳からの中国語

発行 一般財団法人日本中国語検定協会

本誌掲載の記事，写真，イラスト等を無断で複製・
複写・転載することを禁じます。

上野理事長に聞く

聞き手：『中国語の環』編集室

——3月試験が新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止になりました。

記念すべき第100回ということで準備されていた方もおられ、申し訳のないことになってしまいましたが、6月に再度挑戦してくださることを期待しています。

協会としましては、この機会にわたくしたちの仕事が日本の中国語教育の振興にどれほどの役に立ててきたのか振り返ってみたいと思います。

——例えばどんな点？

細かな点は置きますが、4つの級を合わせて60名の受験者から始まった試験が、今日では初級から上級まで6つの級を合わせて、年3回、毎回の受験者が1万名を超えるに至っています。

受験者は当然のことながら合格を目指して準備するわけですから、教育の場でも影響を受けざるを得ません。

第1回の試験は1981年の秋に実施されていますが、この時期は中国の改革・開放政策が始まり日中間の政治・経済・文化・学術……あらゆる面での交流が盛んになりました。当然の結果として、中国語の学習者も急増しました。

ところが、その急増した学習者を受け入れる態勢は、テキストにしても辞書にしても教師陣にしても、はなはだ貧弱で、今日とは雲泥の差が見られました。

これでは困るというので、それまで細々と中国語教育に携わってこられたわたくしたちの先輩に当たる先生方が、緩やかな学習の指針を設定して学習者の励みにすることができればと始めたのが、この事業です。

——「緩やかな指針」が「到達の目標」になってしまった。

「なってしまった」かどうかはともかく、なってしまっただけという危惧はあります。

理想を言えば、さまざまな教学の場でさまざまな目標に従った教育が行われ、学習者も自身の興味や関心に従って学び、さていま自分の学習レベルはどの辺にあるのかなぐらいの軽い気持ちで検定を受けてみるというのが望ましいのですが……。

ところが現実には大学に「検定対策講座」が設けられたり、街に「合格奪取」「合格一直線」「傾向と対策」……といった勇ましい対策本が出回ったりしています。それは決して悪いことではないのですが、問題は、試験を実施するわたくしたちの側に、なりふりかまわずに合格の目標にさせていただくだけの用意があるのかということです。

——今後の抱負は？

前回は話したことですが、運営体制、試験内容、その他すべての仕事を全面的に洗い直し、時代の要請に即した検定試験にしたいものですね。わたくしはもう老兵です。若い世代に期待しましょう。

わたしの話、分かりますか？

日本中国語検定協会副理事長・中京大学 張 勤

タイトルの「わたしの話、分かりますか？」を中国語では(1)のように訳して言えるだろう。また“懂”だけではなく、(2)のように“明白”なども使える。

- (1) 我的话，你懂吗？／你懂我的话吗？
- (2) 我的话，你明白吗？／你明白我的话吗？

また(1)(2)は(3)(4)にも言い換えられ、それぞれの区別が問題となる。

- (3) 我的话，你能懂吗？／你能懂我的话吗？
- (4) 我的话，你能明白吗？／你能明白我的话吗？

「わたしの話、分かりますか？」の発話されるシチュエーションがいろいろ考えられる。例えば、ア) Bに対して何らかの解釈や説明を行なっているAが、どうもBが納得していないと感じ、「わたしの話、分かりますか？」と確認する可能性があるし、またはイ) Bは子どもだったり日本語以外の言語のネイティブだったりする場合、Aは「わたしの話、分かりますか？」と確認することもありうる。

ア) のケースでは確認しているのが、自分が言おうとすることをBが理解しているかどうかということだが、イ) では理解すること自体ができるかどうかを確認している。仮にア) を「状況確認」、イ) を「可能性確認」と呼ぼう。中国語では(1)(2)の言い方はア) イ) とも表せるが、どちらかというとな) の意味が強い。イ) の意味をはっきりと表現しようとすれば(3)(4)となる。

- (5) 她知道明天我们为什么都在家吗？
- (6) 她能知道明天我们为什么都在家吗？

(5)は「分かっているかどうか（知っているかどうか）」について、(6)は「分かる可能性があるかどうか（知るすべがあるかどうか）」について聞くわけだ。

ところで(7)は交通規則について分かるかどうかを聞いているが、どうも詰問のニュアンスが強い。これは交通規則が分かっているはずだという前提のもとで、そのように聞くことから生まれたニュアンスだ。しかし(8)のように聞くと、「お前なんか分かるものか」などの意味合いが出たりして、この場合は使えない。

- (7) (交通規則違反者に) 这儿骑车不能带人，你明白吗？
- (8) (交通規則違反者に) 这儿骑车不能带人，你能明白吗？

日本語の「分かる」に対して中国語は“懂／能懂”の二つで対応されるのは、「分かる」には「可能性」の意味が含まれるからである。この他に「聞こえる・見える」さらには「思い出される」などにも同様な関係が含まれている。

- (9) (状況確認) 你听见我说了什么吗？
- (10) (可能性確認) 你能听见我说了什么吗？

以上の(9)(10)のどちらも日本語は「何を話したか聞こえますか」だ。

“不会V(O)”と“V不了(O)”(1)

日本中国語検定協会理事・文京学院大学 魯 曉琨

第111号で“V得/不了”を二分類した上で、Vの実現の可能性を表す“V得/不了(2)”をAタイプとBタイプに分類しました。Aタイプでは、話し手が客観的な事実に基づく判断を伝えているが、Bタイプでは、話し手が主観的な推測に基づく判断を伝えています。なお、Bタイプは否定形“V不了(2)”に限られています。

ここで、“不会VP”は上記のBタイプと同じく、話し手が主観的な推測に基づく判断を伝えているため、両者の使い分けが問題となります。以下に“V不了(2)”のBタイプを簡単に“V不了”と称します。

そもそも“不会VP”では、VPは複雑な構造でもいいですが、“V不了”では、“V不了”のあとに目的語しか用いることはできません。そのため、構文において両者の使い分けが生じる範囲は、“不会V(O)”と“V不了(O)”に限られています。

“不会V(O)”構文を「NP+不会+V(O)」とし、「NP+不会+V(O)」構文が示される意味を二分類する上で、それぞれ“V不了(O)”との意味関係を明らかにします。

1 「NP(動作主)+不会+V(O)(Vが動作主のコントロールできる行為である)」

Vが動作主のコントロールできる行為である場合、話し手は動作主の主観的な決定に基づいて、V(O)の実現ができないことを推測します。例えば、

(1) 在没毕业之前我不会结婚。

(卒業するまでは私は結婚するはずがない。)

(2) 不到上课的时候，他是不会走的。

(授業が始まるまでは、彼はここを立ち去るはずがない。)

(3) 人们不会忽视思想家的观点。

(人々は思想家の観点を無視するはずがない。)

この場合は“不会V(O)”を“V不了(O)”に言い換えると、意味が変わります。

(1)′ 在没毕业之前我结不了婚。

(卒業するまでは私は結婚できない。)

(2)′ 不到上课的时候，他是走不了的。

(授業が始まるまでは、彼はここを離れられない。)

(3)′ 人们忽视不了思想家的观点。

(人々は思想家の観点を無視できない。)

上の例は構文としては、“不会V(O)”も“V不了(O)”も成立するが、意味が違います。(1)の“不会结婚”は私自身が結婚する意思がないという意味を、(1)′の“结不了婚”は何か支障があって結婚できないという意味を表します。(2)と(2)′、(3)と(3)′も同じように解釈できます。

要するに1のケースでは、“不会V(O)”と“V不了(O)”は異なる意味を表す

ため、交換できません。

2 「NP (主体) + 不会 + V (O) (Vが形容詞/動作主のコントロールできない行為である)」

Vが形容詞または動作主のコントロールできない行為である場合、話し手は内在能力条件または外的な条件が備わらないことに基づき、V(O)が実現できないことを推測します。但し、条件を明記しなくてもいいです。例えば、

(4)用了一大帮人，效益肯定不会好 (○好不了)。

(こんな多くの人を雇い、利益はきっと少ないだろう。)

(5)他已料到这件事不会成 (○成不了)。

(この事はうまく行かないだろうと彼はすでに予想しています。)

例(4)では“用了一大帮人”という外的な条件に基づき、“效益肯定不会好”と推測しています。(5)では条件は明示されていませんが、どちらかの条件が備わっていないはずです。

“V不了(O)”のBタイプもVが形容詞または動作主のコントロールできない行為であり、“不会 + V(O)”と同様に話し手は能力条件または外的な条件が備わっていないことに基づき、Vが実現できないことを推測します。そのため、(4)(5)の“不会V(O)”を“V不了(O)”に言い換えることはできます。逆に(6)(7)の“V不了(O)”を“不会V(O)”に言い換えることもできます。

(6)经理见多识广，他要这么办错不了 (○不会错)。

(社長は見聞が豊かで知識が広いので、社長のやり方で間違いはないでしょう。)

(7)买床急什么，家具店又倒不了 (○不会倒)。

(そんなに急いでベッドを買わなくても、家具店が潰れることはないだろう。)

両者が交換できるのはこのように共通な意味を持っている場合ですが、共通な意味を持っていても交換できない場合もあります。このことについては、次回に取り上げます。

なお、同じ動詞でも、Vが動作主のコントロールできる行為か否かが場合によって変わるケースがあります。例えば、“死”という動詞は「(自然の流れで)死ぬ」という意味では、コントロールはできませんが、「自殺」という意味でしたら、コントロールはできます。

(8)a 我每次动手术前都坚信我不会死 (○死不了)。

(私は毎回手術を受ける前、自分は死なないだろうと固く信じている。)

b 她再苦也不会死 (*死不了)，你也许会。

(彼女はいくら苦しんでも死を選択するはずはないが、あなたは選択するかもしれない。)

例(8)aの“死”は「(自然の流れで)死ぬ」という意味でコントロールできないため、“不会死”を“死不了”に言い換えることができますが、(8)bの“死”は「自殺」という意味でコントロールできるため、“不会死”を“死不了”に言い換えることはできません。

絵で見ることわざ(4)

絵・張 恢

文・『中国語の環』編集室



饭后走百步，活到九十九

fànhòu zǒu bǎi bù, huó dào jiǔshíjiǔ

食後に百歩歩けば、99歳まで長生きできる；食後の軽い運動は長寿の秘訣。食後の百歩。



父是英雄，儿好汉

fù shì yīngxióng, ér hào hàn

父は英雄，子は好漢；父が立派な人物であれば子も優れた人物になる。この父にしてこの子あり。“有其父，必有其子”



隔墙有耳，背后有眼

gé qiáng yǒu ěr, bèihòu yǒu yǎn

壁に耳あり，後ろに目あり；秘密の話などが他に漏れやすいことのたとえ。壁に耳あり，障子に目あり。



佛要金装，人要衣装

fó yào jīnzhuāng, rén yào yīzhuāng

仏像は金粉の装いで，人は衣装で引き立つ。人はふさわしい服装をすれば立派に見える。馬子(まご)にも衣装。



胳膊拧不过大腿

gēbo níngbùguò dàtǔi

細い腕で太い腿(もも)を振(よ)じることとはできない；強い者には勝てない。長い物には巻かれよ。“拧不过”は“扭不过”(niǔbùguò)とも。



恭敬不如从命

gōngjìng bùrú cóngmìng

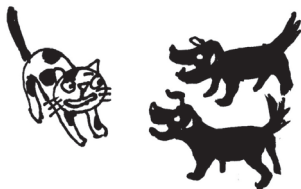
辞するは礼にあらず；遠慮しすぎるよりも言いつけに従うのがよい。「遠慮なく頂きます」の意でよく使われる。



狗不嫌家贫，儿不嫌母丑

gǒu bù xián jiā pín, ér bù xián mǔ chǒu

犬は飼われている家が貧しくても嫌がらない、子は母が醜くても嫌がらない；肉親や郷土に対する愛着心が強く、決して見捨てることのないたとえ。



寡不敌众，弱难胜强

guǎ bù dí zhòng, ruò nán shèng qiáng

少ない人数では数の多い相手にはかなわない、弱い勢力では強い勢力には勝てない；衆寡敵せず。多勢(たぜい)に無勢(ぶぜい)。



光脚的不怕穿鞋的

guāngjiǎo de bù pà chuān xié de

はだしの者は靴を履いている者を恐れない；何も持たない者は怖い者なしである。



瓜田不纳履，李下不正冠

guātián bù nà lǚ, lǐxià bù zhèng guān

瓜田に履(くつ)を納(い)れず、李下に冠を正さず；他人から嫌疑を受けやすい行為は避けたほうがよい。「履を納れず」は「履を直さない」の意。



管中窥豹，可见一斑

guǎnzhōng kuī bào, kě jiàn yībān

管中(管の穴)から豹を窺(うかが)い、その一斑(いっばん；まだらの一つ)を知る；一斑を見て全豹を知る。物事の一部を見て全体を推察する。



过了这个村，没有这个店

guòle zhège cūn, méiyǒu zhège diàn

この村を過ぎたら、もうこの宿屋はない；この機会を逃したら、二度とこんなチャンスは訪れない。元は宿屋の客引きのことば。

京劇の中国語と能楽の日本語

日本中国語検定協会評議員・明治大学 加藤 徹

京劇の中国語は美しい。今は、ネットの動画投稿サイトでも無料で京劇の舞台上演の映像を視聴できる。日本で京劇の実演を習えるサークルや劇団もある。よい時代になった。

伝統的な京劇の中国語は、優美な「韻白」と、通俗的な「京白」や「方言白」に大別できる。

韻白は、いにしえの中原をイメージして創造した芸術的人工言語「中洲韻」に準拠するセリフを指す。「白」は告白、自白の白と同じ。韻を踏んだ科白という意味ではない。韻白は、日本の能のセリフと同様、現代人には理解困難だ。

京白は、日本の江戸弁にあたる北京の下町言葉を土台にした芝居の言葉だ。現代人も字幕なしで理解できる。

京劇の「韻白」は京劇の故郷である安徽省と湖北省の方言がミックスした言語だ、と誤解する人もいる。韻白は舞台用の人工言語なので、日常の自然言語として流通する地域はどこにもない。

日本でも、能のセリフは、アクセントも発音も独特な芸術的人工言語であり、京都方言ではない。能役者も、日常生活では普通の日本語を使う。能役者どうしの会話でも「風の心地にて候ふ」などとは言わず、自然言語で「風邪ひいちゃったみたい」などと言うはずだ。

2017年東京で「霸王別姫～能楽と京劇 日中ユネスコ無形文化遺産の融合～」という実験的な舞台公演があった。京劇の項羽と虞美人(虞姫)、そして能の虞美人(能にも「項羽」という演目がある)の三人が同じ舞台に立ち、それぞれ京劇の韻白と能の伝統的なセリフ回しで演技した。私はその練習にも立ち会ったが、シュールで面白かった。

虞美人役の京劇女優は、普段より1オクターブ高い作り声で“漢兵已略地，四面楚歌声”と韻白の発音で詩吟のように唱う。

虞美人役の能役者(中年男性)は能独特の発声法と発音で「漢兵はこの地を攻略し、四面からは楚の歌声」と謡う。

二人とも次の瞬間、素(す)に戻り「今のところ、どう？」のように日常語で言う。練習なので普段着姿だったから、さらにシュール度が増した。

シェイクスピアの芝居は、歌舞伎や能より歴史が古い。が、セリフは「初期近代英語」で、現代英語との断絶はない。だから西洋人は、演説やディベートの練習教材としてシェイクスピア劇を使う。

一方、日本の能も中国の京劇も、演説の教材にはならない。西洋と東洋の発想の違いは、興味深い。

中検 1 級一次 筆記試験について

崔 英花

来日 6 年目となる中国人の私が、中検 1 級を受けてみたいと思った理由は 2 つある。まず、中検の 1 級を持っていると通訳案内士試験で中国語が免除になるため、一種の試験対策である。もう 1 つは、二次試験では高度な翻訳・通訳能力が問われるため、日ごろ翻訳をメイン業務にしている者として、翻訳能力を一度客観的に測りたかったからだ。

現在、私は一次試験を無事クリアし、二次試験に備えている最中である。

中国語ネイティブとして一次試験の筆記試験で感じたことを記してみたい。まず、試験の内容面において、中検は実用的なコミュニケーションに加え、幅広い知識や教養を問うものが多いことである。例えば、四字熟語や慣用句の出題が非常に多い。四字熟語や慣用句は、簡潔な言葉で多くの意味を伝えることができるため、ドラマ鑑賞や人の言葉を理解する上では非常に役立つ。一例をあげると、今回の試験に出てきた“打秋风”(金品をねだるという意)という言葉がある。恥ずかしながら、私がこの言葉を知ったのはつい最近のことなので、試験で正解を出すことができたのは実に運が良かったと言えるだろう。私は日ごろ、中国の大手カルチャーメディア“十点讀書”のウィーチャット(微信)公式アカウントで提供されている音声番組を愛用している。19年 5 月 9 日に、“婉兮清扬”という作者が発表した《《红楼梦》里最值得学习的人，居然是她》というタイトルの文章の中に、“贾母本就不太待见大儿子夫妇俩，更何况打秋风而来的穷亲戚？”という一文があった。前後の文脈から、“打秋风”のおおよその意味が分かり、面白い表現だなあと感心していたところに、今回の出題があったわけである。語学の習得に当たり、日ごろからたくさん文章を読んでおくことがいかに大事であるかがおわかりいただけるのではないだろうか。

次に、試験対策について述べたい。私はこのたび幸いにも、すべての選択問題で正解を出せたので、最後の日中・中日翻訳でいくつかミスが出たものの、辛うじて合格することができた。中検の存在を知ったのは 10 月 24 日、一次試験実施日はちょうど 1 か月後の 11 月 24 日だった。準備の時間もほとんどなかったため、出題形式の確認は第 93 回試験を解いてみただけで、特別な試験対策はできなかった。このため、本番では翻訳問題を全部意識で済ませてしまった。後で模範解答を確認したところ、解答例はどれもかなり直訳寄りであったため、「それを知っていたら…」と悔しい思いをした。

最後に、筆記試験の難易度について書いてみたい。私は中国の 4 年制大学を卒業したが、入試の際の国語(=中国語)の点数は合格者平均レベルであった。しかし、パソコンや携帯の多用で字を手書きすることが減っている今日において、漢字を正しく書くことがまず難しかった。そうした意味からも、中国語ネイティブにとっても、この試験に合格するのは決して簡単とは言えなかったというのが本音だ。

ようやく準1級に合格

加藤 裕子

先日、掃除中に「中検3級認定証書」を発見。日付は昭和61年、つまり1986年です。その後1994年に2級を取得して以来、「合格」とは縁のなかった私。2019年7月によりやく準1級合格にこぎつけたと思うと感慨もひとしおです。

今回の受験目的は、ズバリ3年前のリベンジです。準1級2回目の挫折を味わった直後は色々と言実を設けて勉強をやめてしまいました。中国旅行での会話では特に困らないし映画やドラマも楽しめるし、このくらいいいいいや、と。でももっとうまくなりたいと思う出来事に遭遇したのです。

近所で買い物をしているとき、中国からのお客さんの中に割引と支払方法がよくわからないという方がいて、そばにいた私は通訳を買って出ました。結果的にその方と店員さんからとても感謝され、良い気分になると同時に、実力不足も感じました。簡潔に説明できるようになりたい！そのとき思い浮かんだのが中検です。

受験を決めてからは、まず簡体字を速く正確に書く、苦手な日文中訳は解答を分析した上で覚えやすい文例を暗記する、といった地道な作業を続けました。リスニング対策としては、過去問題集の巻末についている答案用紙を実物大に拡大コピーし、4択問題でのメモの取り方を工夫してみました。ディクテーションでは、聴き取った中国語を枠内に収めて書く練習しました。これができるとう気持ちが落ち着く気がします。その他、数字や単位を正確に聴き取って瞬間的にメモする能力も必要だと痛感。使用したのは過去問題集と『合格奪取！中国語検定準1級1級トレーニングブック 一次筆記問題編』（アスク出版）です。一次試験合格後は中国語教室の先生に作文を訂正していただいたり、スピーチ練習をしたりするなど、中国語環境を作るようにしました。

若い頃中国語の勉強を始めた動機は、当時熱心に取り組んでいた卓球や書道で交流することでした。今回の合格は自分の原点を見つめ直すきっかけにもなりました。

今後はより実践的に中国語を使いこなせるようになりたいです。試験勉強の過程で語彙が増え文法を意識する習慣がついたのを実感している今、やはり1級合格を目標にすることが向上につながると思っています。

準4級に合格して

関東学院大学人間共生学部 篠田 結

私は大学1年生の時に「中国語圏の生活と文化」という講義を受け、中国語に大変興味を抱きました。中国語が話せるようになれば、世界中のたくさんの人と関わる機会を増やすことができ、人の輪を広げることで自分自身の視野も広げることができると思いました。

半年前から勉強を始め、担当の山田先生からお聞きした中国語学習方法を実践し

ました。具体的には教科書のCDを朝や寝る前の5分間などを使って毎日聴き、耳で聞いて勉強していきました。少しずつ耳が慣れてきたら、聞いて覚えたことを実際に紙に書いて単語を覚えていきました。学んでいくうちに覚えた単語を駅や街で見つけたときに、少しでも理解できるようになることが嬉しく、中国語を学ぶ楽しさにぐいぐい引き込まれていきました。また、駅などで中国語のアナウンスはまだまだ聞き取るのが難しいと感じたときに、もっと勉強して理解できるようになりたいと思うようになりました。実際に検定試験に向け、授業中や自宅で過去問から最新の過去問までいろいろな問題を何度も解くこと、解いてみて間違えた部分をとにかくたくさん紙に書いて覚えることを繰り返しました。

まだまだ中国語の勉強を始めたばかりでスタート地点ではありますが、いずれは言語が違う方たちとも自信を持ってコミュニケーションが取れるように、さらに4級の合格を目標にさらに勉強していきたいと考えています。

3級に合格して

新潟国際情報大学国際学部国際文化学科 永井 美香

私は現在大学4年生です。大学では中国語を専攻しています。きっかけは、ドラッグストアでのアルバイトです。登録販売者資格を取得したことで、その分野の漢方薬に興味を持ちました。漢方薬の発端は東洋医学、つまり中国にありました。そのため、漢方薬を極めるには中国について学ぶ必要があると思い、自分が国際学部という点もあったため、中国語を専攻することを決意しました。

新しい言語を一から学ぶことは難しく、特に発音には手こずる日々でした。中国語を約2年学び、私はあることを決意しました。それは中検を受験することです。先生は「せっかく中国語を学んでいるのだから、その証明になる資格は絶対取った方が良い」とおっしゃっていました。来年から就職活動が本格的に始まります。その中で、資格というのは自分が頑張ってきたことを証明できるものだと思っており、大学でがんばってきた中国語も学んできた証として結果として残したいという思いが強くなり受験を決意しました。

約1か月、独学で励みました。わからない所は先生に細かく指導していただき理解を深めていきました。また、ひたすら辞書を読み込んで、過去問は何度も解きました。ピンイン、声調は辞書を読み込んだことで自信ができました。リスニングは実際に先生と会話練習をして日常的に耳を慣らしておくようにして対策しました。その結果、第99回中検3級に無事に1回で合格することができました。今まで学んできたことが証明できる資格として残せたことが何より嬉しいです。

ドラッグストアでは、中国人のお客様も多いので活かせる環境があることもまた中国語をさらに極めていきたいと思うところです。これからも中国語を学び、さらに高みを目指していきたいです。

私の中国語学習方法

3級合格 専修大学 相澤 友紀

大学入学後に中国語の勉強を開始し、2018年11月の試験で3級を受験しましたが、リスニングが全く聞き取れず不合格になってしまいました。

そこでリスニングの力を高めようと、中国語の歌を聴いたり、色々試しました。一番効果を感じたのは「Netflix」で中国のドラマを中国語の音声と中国語の字幕で見ることでした。内容のわかりやすい日本作品のリメイク版から見始め、1話ごとあらかじめ日本語で内容を理解した後、ひたすら中国語の字幕と音声で見続けました。さらに、自分もブツブツとセリフを追いかけながら声に出してみると、自然と中国語のリズムや声調が身についた気がします。バラエティなども中国の番組は字幕がついていることが多いので、楽しみながら勉強しました。

その後大学の春休みを1か月利用して北京に留学しました。授業も日常会話も話すスピードが速くて聞き取れずとても苦労しましたが、中国の文化に触れることができてとてもいい経験でした。

そして2019年6月の試験で3級にリトライし、あんなに聞き取れなかったリスニングがスラスラ入ってくるようになりました。全文聞き取れなくても、ドラマを見ていたお陰で知っている単語の数も増え、聞き取れた単語を繋ぎ合わせて内容を推測することができるようになりました。これからも日々勉強を続け、次の試験で2級に挑戦し、身につけた語学力を自分の生活の中で生かしていきたいです。

30歳からの中国語

準1級合格 株式会社ADEKA 遠藤 倫生

私は、30歳になるまで一度も日本から出たことがなく、特に外国に強い興味を持つことなく生きてきました。しかし、仕事で中国絡みの案件に携わるようになってから中国に興味を持つようになり、中国語学習を始めました。すると、みるみるうちに中国語の魅力にハマっていきました。その後、会社にて、若手を対象とした海外研修制度を利用し、約半年間上海で過ごすという経験もでき、ますます中国語と中国という国に惹かれていきました。そして、中国語学習を開始してから1年10か月後である2019年4月、難関である中検準1級に合格することができました。

中検準1級へ向けた学習においては、『合格奪取! 中国語検定準1級・1級トレーニングブック 一次筆記問題編』(アスク出版)、そして中検準1級の過去問を研究することが役立ったと感じています。中検はリスニングや長文の内容が興味深いものが多く、過去問に取り組むのが非常に楽しかったです。今回準1級に合格はしましたが、まだ解いていない準1級の過去問はほとんど解いていこうと思っています。私にとって1級はまだまだ遠い目標ではありますが、1級合格を目指してこれから更に中国語力を磨いていくつもりです。